

社会調査に
SOGI項目を含める
－ Why & How －

釜野さおり

国立社会保障・人口問題研究所



従来のジェンダー統計によって明らかにしようとする「男女」の格差と、**SOGI**による格差は、かなり異質のように思われるかもしれない。しかし、いずれもジェンダーをベースとする格差であり、両者を視野にいれながら探求することが学術的にも政策的にも有意義かつ実りの大きな成果を挙げうるのではないかと考えられる。

WHY?

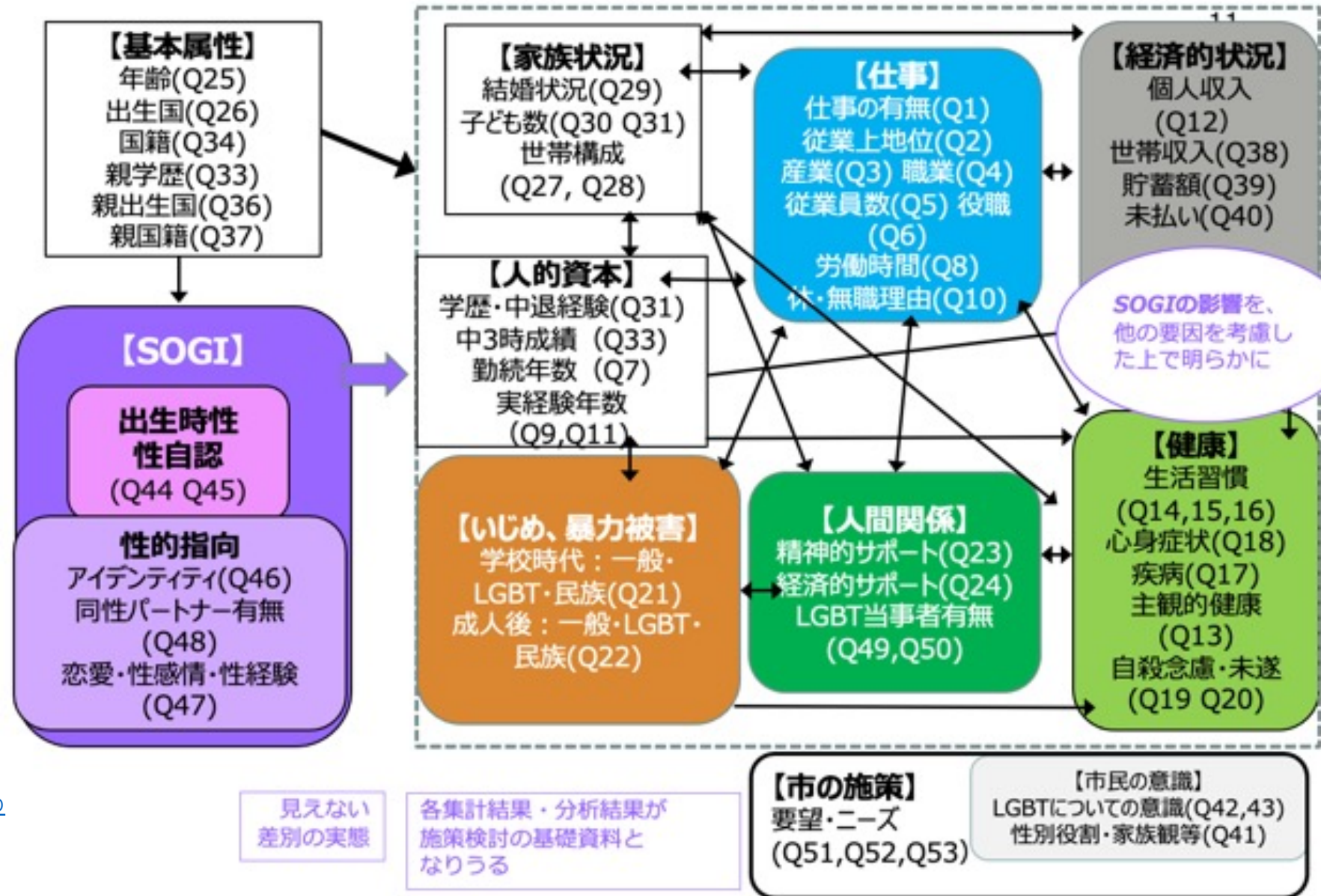
ジェンダー統計の充実に向けて：
なぜSOGIを捉えることが必要なのか

回答者のSOGIと様々な生活実態・経験を同じ調査でたずねることで、他の要因の影響を差し引いてSOGIの影響を分析できる。

大阪市で実施した無作為抽出調査の設問一覧

調査・関連研究の詳細は
osaka-chosa.jp および

<https://www.ipss.go.jp/projects/i/SOGI/index.asp>



大阪市民調査へのコメントと回答

性的マイノリティについて知りたいなら、性的マイノリティだけを調査すればいいのではないか

- 当事者対象の調査は重要（国内でもある程度の蓄積あり）
- 非当事者との比較ができる調査が国内でなされていない
- 上記は、それぞれ目的が異なり、いずれも重要（本研究チームでは後者に取り組んでいる）

こんな調査をしないで、当事者に困っていることを直接聞けばいいのではないか

- ニーズや困難は「困っている」と認識できる形で存在しているとは限らない（権利保障もサポートもない状態が「当たり前」にされている現状があるため）
- SOGIの心身の健康や経済状態への影響や構造的問題は主観的に認識されとは限らないため、アウトカムを非当事者と比較することで見えてくるものもある

性的マイノリティに関係のない項目ばかりではないか・何が目的かわからない・こんな調査が役に立つとは思えない

- 困りごとやニーズを聞くことも必要だが、SOGIはあらゆることに複雑なかたちで作用している可能性がある
- 各設問は単にその集計結果を見るためとは限らない（統制変数）
- 例：収入と性的指向の関係を見る際には、仕事の実経験年数などを考慮する必要がある

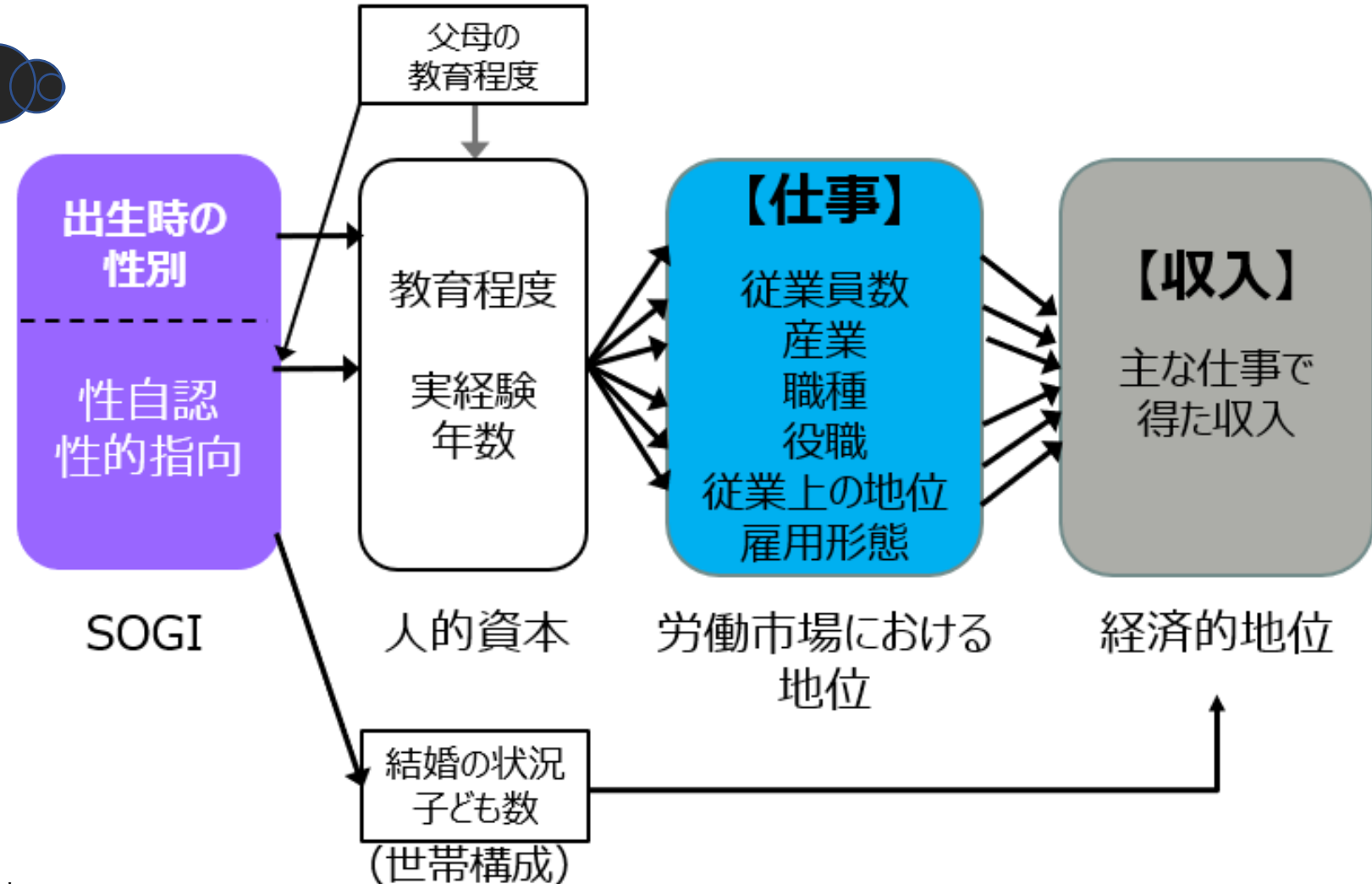
「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」仕事と収入項目の位置付け

問題意識： LGBTの収入は、LGBT以外の「一般の人」に比べて低いのか、高いのか。
教育程度や実経験年数、仕事のさまざまな状況を考慮しつつ、そのメカニズムを解明する。

回答者のSOGI、収入、その他の収入との関連事項を同じ調査でたずねることで、SOGIと収入との関連の分析

当然「男女格差」の分析も含まれる

性的指向と収入との関連のメカニズム



無作為抽出の大規模調査にSOGIを含める意義

調査の方法には、質的調査、事例研究等、さまざまなものがある。

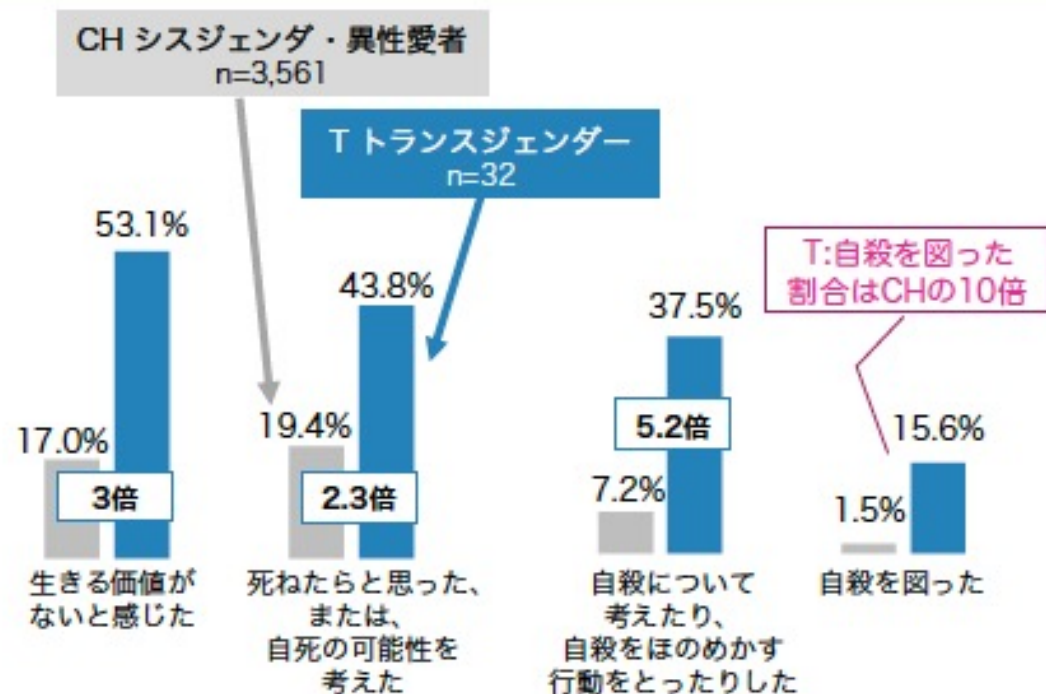
ここで取り上げる量的調査も多様である：

- 対象
 - 性的マイノリティ当事者を中心にしたもの →当事者についての詳細がわかる
 - 性的マイノリティ当事者と非当事者の双方を含むもの →当事者と非当事者の比較が可能
- データの集め方
 - 有意抽出：結果を母集団に一般化できない（モニタ型ウェブ調査、オープン型ウェブ調査、街頭調査、イベントでのアンケート配布など）
 - 無作為抽出：結果を母集団に一般化できる（調査で得た結果について、どれくらい確からしいか、と言える）（多くの国・自治体による調査、大規模学術調査）
 - 抽出である必要は？：個人・世帯対象の全数調査である国勢調査にSOGIを含めることも必要
- 規模
 - SOGIのようにマイノリティの絶対数が少ない場合、サンプルサイズは大きいほどよい
 - ただし小規模の調査でも経年的にデータの蓄積によって、有用な分析が可能となる（例：GSS, General Social Survey）
- ⇨ **当事者と非当事者が含まれる無作為抽出による大規模調査**：同じデータ上で当事者と非当事者との統計的比較を可能とする

(無作為抽出調査による分析例)

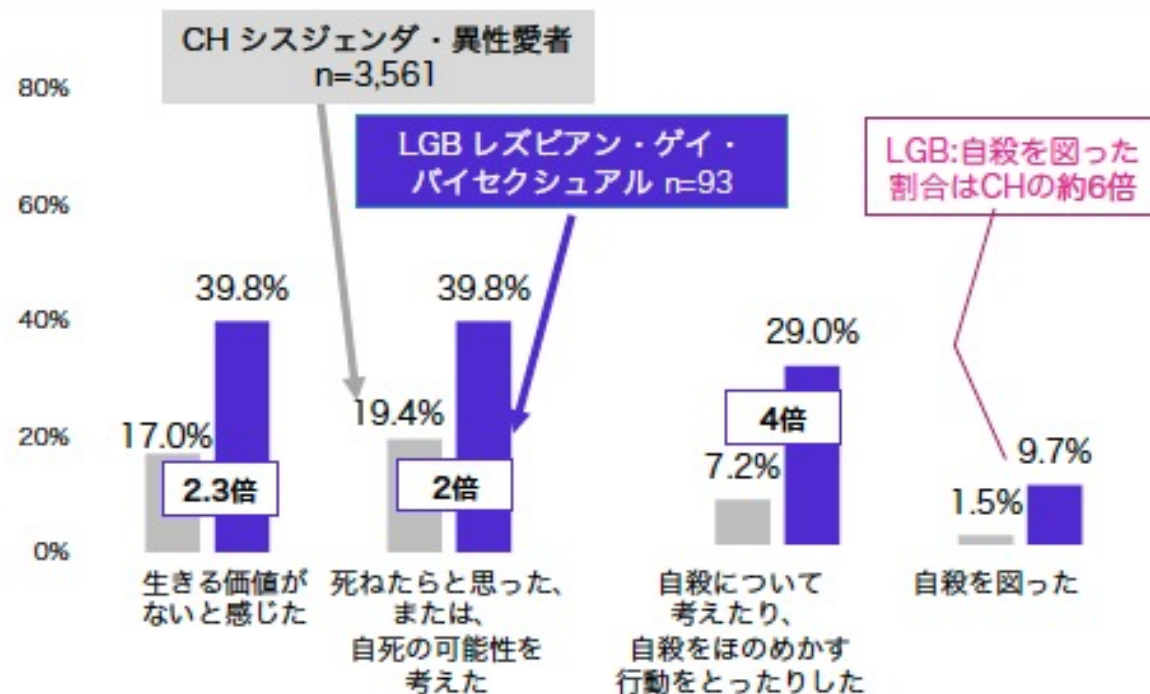
大阪市民調査：自殺企図・未遂経験割合の比較

10 【結果 B1】 トランスの自殺企図・未遂経験割合は、シス・異性愛者に比べ、有意に高い



- 全項目で、CH [シス・異性愛] より、T [トランス] の経験割合の方が高い (有意差あり $p < 0.05$)

11 【結果 B2】 LGBの自殺企図・未遂経験割合は、シス・異性愛者に比べ、有意に高い



- 全項目で、CH [シス・異性愛] より、LGB [レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル] の経験割合の方が高い (有意差あり、 $p < 0.05$)

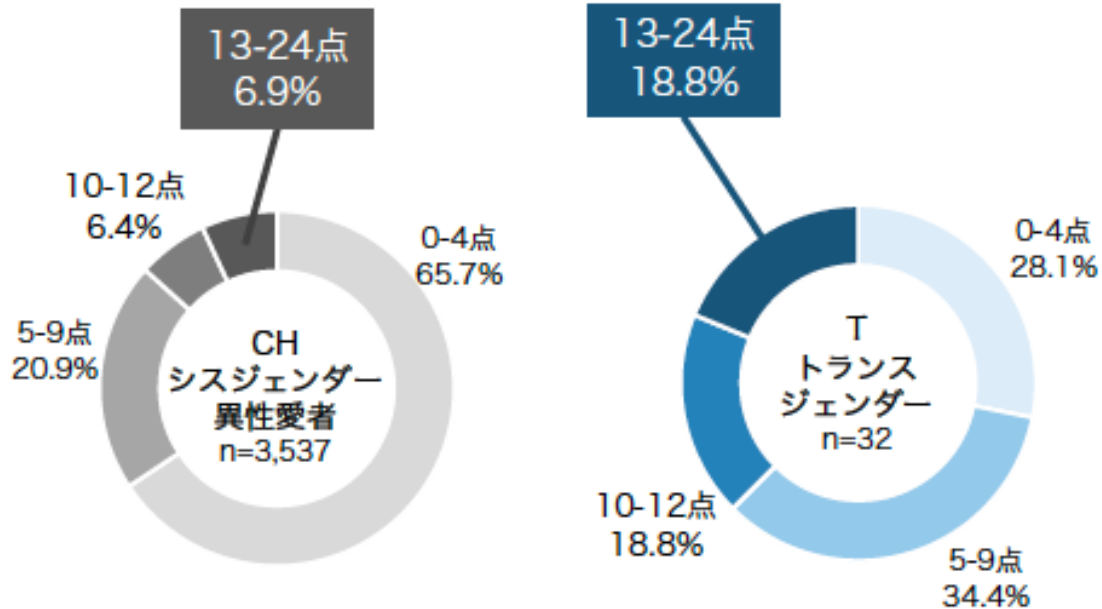
(無作為抽出調査の分析例)

大阪市民調査：K6 高得点該当者割合の比較

8

【結果 A1】 トランスのK6値は、シス・異性愛者より有意に大きい=メンタルヘルス良くない

K6値 = 13-24点 (深刻な心理的苦痛を感じている可能性)
シス・異性愛者 6.9 % トランス 18.8% (約2.5倍) 有意差あり

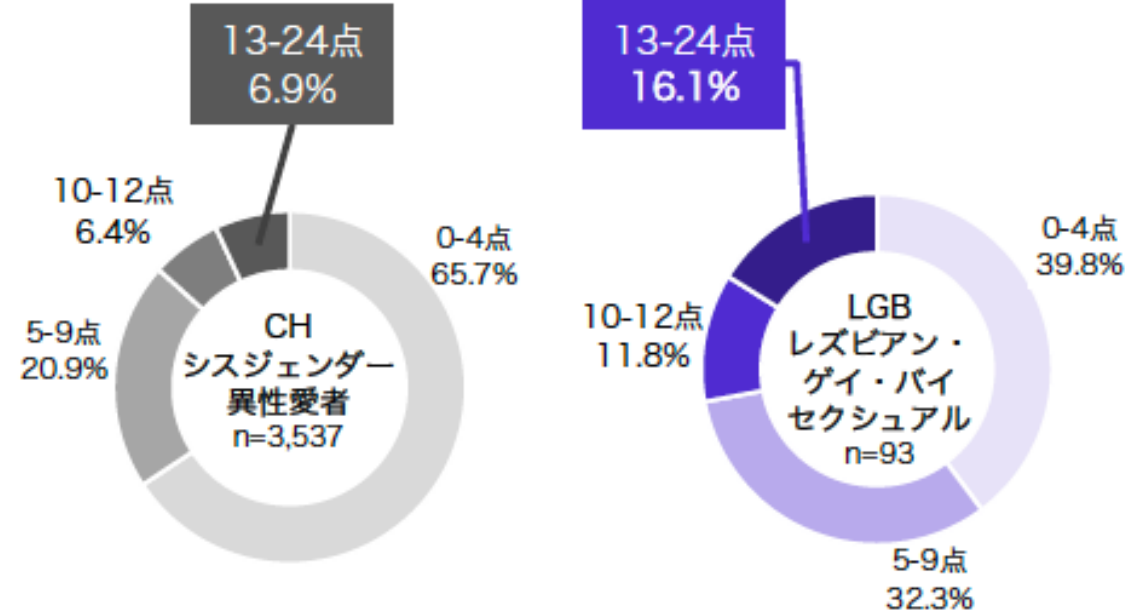


K6値=10点以上 (気分・不安障害にあてはまる可能性)
シス・異性愛 13.3% トランス 37.5 % (約3倍、有意差あり)

9

【結果 A2】 LGBのK6値は、シス・異性愛者より有意に大きい=メンタルヘルス良くない

K6値 = 13-24点 (深刻な心理的苦痛を感じている可能性)
シス・異性愛者 6.9 % LGB 16.1% (約2.3倍) 有意差あり



K6値 = 10点以上 (気分・不安障害にあてはまる可能性)
シス・異性愛 13.3% LGB 28.0 % (約2倍、有意差あり)

(無作為抽出調査による分析例) 行動リスク要因監視システム調査のデータに基づく健康 や行動の比較

- アメリカ、2014 年調査のデータ、 CDC疾病対策センターによる
- 無作為抽出調査、n=151,456 Behavioral Risk Factor Surveillance System
- 性自認の問いのオプション導入、19州で採用
- 調査目的：成人の健康、関連するリスク行動、予防サービスの利用について、州ごとに統一されたデータを収集
- コア設問：
 - 人口学的属性、健康状態、健康に過ごせる日、医療アクセス、運動、睡眠、口腔衛生、喫煙、アルコール摂取、予防接種、転倒、シートベルト着用、飲酒運転、乳がん・子宮頸がん検診、前立腺がん検診、大腸がん検診、HIV/AIDSなど
- オptional設問：
 - 性的指向アイデンティティ、トランスジェンダーであるか否か

Meyer et al. 2017

行動リスク要因監視システム調査 性自認のあり方の問い（2014年）

あなたはご自分がトランスジェンダーであるとお考えですか。
（調査員読み上げ）

- 1 はい、トランスジェンダー（男性から女性）
- 2 はい、トランスジェンダー（女性から男性）
- 3 はい、トランスジェンダー（性別分類にあてはまらない）
- 4 いいえ }

シスジェンダー
(150,765人)

トランス
ジェンダー
(691人)

- （読み上げない）
- 7 わからない/不明
- 9 回答拒否

行動リスク要因監視システム調査 トランスジェンダーか否かによる比較

- 多岐にわたる疾病や健康にかかわる行動について、**トランスジェンダーとシスジェンダーの統計的比較が可能！**
- 結果(年齢調整済み) :
 - **トランスジェンダー** > **シスジェンダー** (有意差ありの項目)
 - 1ヶ月あたりの体調不良の日数
 - 身体的不調、メンタルヘルスの不調、心筋梗塞の既往
 - 身体的・精神的な制約を受けた日数
 - 視力の問題、集中力記憶力低下、歩行困難
 - 医療保険加入なし・かかりつけ医なし
 - 医者にかかる金銭的余裕ないとの認識

トランスジェンダー
(691人)シスジェンダー
(150,765人)

Meyer et al. 2017

Variable	Transgender Group (n = 691)		Cisgender Group (n = 150 765)		Transgender vs Cisgender, OR (95% CI)	Transgender vs Cisgender, Adjusted OR ^a (95% CI)
	No.	% (SE)	No.	% (SE)		
General health fair or poor	183	26.17 (0.03)	27 002	17.02 (<0.01)	1.73 (1.24, 2.40)	1.75 (1.27, 2.42)
Physical health not good (days per month) ^b	664	6.28 (0.93)	147 604	3.85 (0.04)	2.43 (0.61, 4.24) ^c	2.37 (0.64, 4.11) ^d
Mental health not good (days per month) ^b	671	5.41 (0.74)	148 307	3.67 (0.04)	1.74 (0.28, 3.19) ^e	1.70 (0.22, 3.17) ^f
Lifetime history of diagnosed chronic conditions						
Diabetes	116	13.88 (0.02)	19 788	10.69 (<0.01)	1.35 (0.95, 1.90)	1.37 (0.96, 1.95)
Kidney disease	40	4.29 (0.01)	5 284	2.65 (<0.01)	1.65 (0.96, 2.84)	1.70 (0.98, 2.95)
Arthritis	235	29.84 (0.03)	53 481	27.85 (<0.01)	1.10 (0.81, 1.50)	1.16 (0.86, 1.57)
Asthma	99	13.50 (0.02)	19 859	14.15 (<0.01)	0.95 (0.65, 1.37)	0.94 (0.65, 1.37)
Chronic obstructive pulmonary disease	66	7.87 (0.02)	12 693	6.91 (<0.01)	1.15 (0.75, 1.78)	1.18 (0.76, 1.83)
Skin cancer	55	5.68 (0.01)	13 419	5.71 (<0.01)	0.99 (0.63, 1.58)	1.04 (0.65, 1.68)
Cancer (other than skin)	55	4.32 (0.01)	14 387	6.64 (<0.01)	0.63 (0.42, 0.95)	0.65 (0.43, 0.99)
Stroke	46	4.74 (0.02)	6 134	3.01 (<0.01)	1.60 (0.83, 3.09)	1.75 (0.93, 3.29)
Angina or coronary heart disease	49	5.71 (0.01)	9 195	4.54 (<0.01)	1.27 (0.78, 2.07)	1.37 (0.83, 2.25)
Myocardial infarction	68	7.29 (0.01)	9 029	4.46 (<0.01)	1.69 (1.13, 2.51)	1.82 (1.22, 2.72)
Depressive disorder	142	19.72 (0.03)	28 886	18.76 (<0.01)	1.06 (0.74, 1.54)	1.06 (0.73, 1.53)
Unable to do usual activities because of physical or mental health issues (days per month) ^b	680	4.47 (0.81)	149 246	2.52 (0.03)	1.95 (0.35, 3.55) ^g	1.90 (0.33, 3.48) ^h
Limited because of physical, mental, or emotional problems	198	24.43 (0.03)	36 885	20.99 (<0.01)	1.22 (0.88, 1.69)	1.22 (0.89, 1.68)
Health problems that require use of special equipment	94	8.70 (0.02)	17 308	8.79 (<0.01)	0.99 (0.68, 1.44)	1.00 (0.67, 1.48)

(無作為抽出調査による分析例)

青少年から成人までの健康に関する全国縦断調査 に基づく社会経済的状況の比較

National Longitudinal Study of Adolescent to Adult Health
(AddHealth)

- 2008-2009年調査データ使用
- 無作為抽出調査、パソコンでの自記式
- 24-32歳 14051人の分析
- 性的指向と経済状況との関連の**多変量解析**

Conron et al. 2018

Add Healthの性的指向の問いと分類

あなたのご自分にもっとも当てはまると考えるものを選んでください。

☐100% 異性愛者（ストレート）

異性愛者

同性との性経験なし：異性愛者

☐ほぼ異性愛者（ストレート）だが、自分と同じ性別の人に多少惹かれる

同性との性経験あり：セクシュアル・マイノリティ

☐バイセクシュアル、すなわち男性と女性に同じくらい惹かれる

☐ほぼ同性愛者（ゲイ）だが、異性の人に多少惹かれる

☐100%同性愛者（ゲイ）

セクシュアル・
マイノリティ

☐男性にも女性に性的に惹かれない

☐回答拒否 ☐わからない

性的指向による社会経済的状況の比較結果 (Add Health)

女性：セクシュアル・マイノリティ(761人) > 異性愛者(6757人)

- 大卒未満、失業中、貧困・それに近い状態、公的援助受給、経済的困窮状態、社会的地位低い、持ち家率低
- 教育の効果を統制すると多くの違いがみられなくなる

男性：セクシュアル・マイノリティ(295人) > 異性愛者 (6533人)

- 大卒、低収入
- 非白人では セクマイの貧困（連邦による定義）が400%多い
- 白人では セクマイの貧困が少ない

SOGIを調査に含めることで、調査に含まれるどの事項についても、性的マイノリティかそうでないかによる比較が可能となる

研究されている例

- 貧困、ホームレス、収入、資産、就業状況、職種、職業、教育達成
- 心身の健康、ストレス、自殺企図・未遂、疾病、医療機関の利用
- 出生意欲、挙児希望、結婚・パートナー関係、子の有無、子育て経験
- ソーシャルサポート、家族関係、周囲との関係
- 居住環境、住宅、移動経験
- 犯罪の被害、性暴力の被害、ハラスメント被害
- 幸福感、生活満足感、不安感、各種意識

SOGIによる格差・差異は特定の領域に限らず、あらゆるところに存在している。現時点ではまだわかっていない格差・差異もある。⇒あらゆる調査にSOGI設問を入れることが検討されてもよいのではないか

HOW ?

性自認のあり方や性的指向を
社会調査でどのようにとらえるか

SOGIをどのようにたずねるかの検討 (諸外国の例)

- 専門委員会を立ち上げて調査方法、文言について、数多くの試験的調査を重ね、設問、調査ガイドライン（ベストプラクティス）を提示している
- 設問を調査で用いた後も評価し、検討を継続している
 - 日本：本WGで設問について何らかの指針を出すとしても、引き続き、その検証、精査、改善のために、予算をつけて専門委員会を作ってしかるべきプロセスを踏むことが望ましい（科研費などによる1グループの研究活動では、予算的にも人員的にも限界がある）
- ただしこうした検討がなされる前から、SOGI設問を含める調査が各方面で実施されており、その経験がベストプラクティス検討過程でも活かされている
 - したがって「ガイドラインが作成されていないから、調査にSOGI設問を含めることはできない」ということはできない

諸外国におけるSOGI設問策定のプロセス

<イギリスの例>

先行研究、法的な枠組み、イギリスと他国の調査のレビュー
量的研究

- 実験調査(異なる問いを含む2種の調査の比較など)
- 分割サンプルによるパイロット調査

質的研究

- 回答したくないといった人への電話インタビュー
- 調査員からのフィードバックと観察
- 一般の人対象のフォーカスグループ
- 一般の人対象の認知インタビュー

(Betts, 2008; Joloza et al. 2009; ONS, 2006; Taylor, 2008)

日本におけるSOGIの設問の検討 (大阪市民調査に向けた準備調査の実施)

- 一般人口対象の調査でSOGIの設問を含めるにあたり、設問の検討を行った
- 研究チームが目指した、適切な設問の条件
 - 当事者が嫌な気持ちにならない、傷つかない、答えたくないという気持ちにならない、間違えずに回答できる。
 - 非当事者が理解できる、自分には関係ないと思われぬようにする、間違えずに回答できる。
 - 両者のバランスをとることが重要

準備調査（詳細は平森・釜野 2021参照）

- 2017年10月～12月
- 複数のバージョンのSOGI設問を提示しフィードバックを得る
フォーカス・グループ・ディスカッション(FGD)(9組, 4-5人)
 - 性的マイノリティ：バイセクシュアル団体のミーティング、プライドパレード「関西レインボーフェスタ！」で募集
 - 非当事者については一般社団法人に委託を通じて募集

パイロット調査（20人）

- 機縁法
- 電子メールでサンプル設問を意見記入用のアンケートを送付

準備調査で検討した性別の問い候補（案1） 2ステップ方式

問12 あなたの性別に○をつけてください。〔出生時の性別〕
（○は1つ）

1. 男
2. 女

問13 出生時の性別にかかわらず、ご自身が現在認識している性別にもっとも近いものに○をつけてください。（○は1つ）

1. 男
2. 女
3. その他（具体的に： ）

準備調査で検討した性別の問い候補（案2） 3ステップ方式

問14 あなたの性別に○をつけてください。〔出生時の性別〕（○は1つ）

1. 男 2. 女

問15 あなたは、今のご自分の性別を、出生時の性別と同じだととらえていますか。それとも別の性別だととらえていたり、違和感があったりしますか。

1. 出生時の性別と同じ 2. 別の性別だととらえている 3. 違和感がある

【上記の問15で「**2.** 別の性別だととらえている」「**3.** 違和感がある」と答えた方におたずねします。】

問16 あなたご自身の性別の認識にもっとも近いものに○をつけてください。（○は1つ）

1. 男 2. 女 3. その他（具体的に： ）

準備調査（FGD・パイロット調査）でたずねた内容の例

- 案1（問12-13）と案2（14-16）とでは、どちらが答えやすいか。なぜか。
- 「認識」という言葉について、言葉づかいが難しいと感じるか、それとも特に難しいと感じないか。よりわかりやすい言い方はないか。
- 社会調査では、はじめに匿名性が守られることの説明が書かれているが、性的指向や性自認に関する設問の前に改めて匿名性に関する説明などがあったほうがよいと思うか。（再度確認があることで、安心すると思うか、それともそれを特別扱いするようで不信感をもつか。）

準備調査： 設問に関する結果：多数が3ステップ方式推し

意見の例：

- 3ステップ方式の方がよい。2ステップ方式だったら、回答が変わるかもしれない（シスジェンダー回答者）
- 2ステップ方式はシンプルで、3ステップ方式はより丁寧という印象。自分はどちらでも答えられる（トランスジェンダー回答者）
- 3ステップ方式の方がより具体的なので、時間をかけて考えすぎずに3つの質問に答えられる（シスジェンダー回答者）
- 3ステップ方式の方が質問の意図がわかりやすい。2ステップ方式の場合、気をつけてゆっくり設問を見なければいけなかった（シスジェンダー回答者）

SOGI設問に答えるか、それらを含む調査自体に協力するか、に関する結果

* 調査自体に答えるか、SOGI設問に答えるかについては、区別をしていないような意見多

* 調査主体、調査方法と回答するかどうかの意見：

- 調査目的やどう使われるかが分かれば答えやすい
- 国や自治体だと信頼できるが情報を管理されるのではという懸念もある
- 国立研究所だと国なので心配。大学ならわかりやすい
- 民間だと別の目的に使われるのでは、勧誘が来るのではないかという懸念
- 調査主体がはっきりしていてなぜ送られてきたのか納得すれば協力する
- アンケートの目的や趣旨が分かれば回答する
- 自分と関係ないと回答しないでもいいやと思う。長くてお硬い文章は読む気をなくす。
- 正直に答える
- 答えない
- 研究目的なら答える

準備調査を経て検討した結果を反映した設問 (2019年大阪市民調査で使用)

問 44 あなたの性別に○をつけてください。[出生時の戸籍・出生届の性別](○は 1 つ)

1 男

2 女

※「出生時」とは、生まれたときにもっとも近い時点のことをさします。

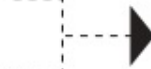
問 45 あなたは今のご自分の性別を、出生時の性別 (上で○をつけたもの) と同じだと
とらえていますか。左側で 2 や 3 に○をした方は、今の認識をお答えください。

(○はいくつでも)

1 出生時の性別と同じ

2 別の性別だととらえている

3 違和感がある



今の認識にもっとも近い性別 (○は 1 つ)

1 男 3 その他

2 女 [具体的に:]

当研究チームの次の調査では、「3 その他」を「3 男女以外の性別」あるいは類似したものに変更予定

大阪市民調査の3ステップ方式の問いについての、 高年齢層を対象にした認知インタビュー

背景：

- 高年齢の人びとの間に存在するSOGIに関わる格差や不平等を明らかにするためには、調査票調査でSOGIをたずねる質問を含めることが大切ではないか。日本においても、性的マイノリティの高齢化が注目されはじめており、今後は高年齢の人びとを含めたSOGIによる格差や不平等の研究が必要
- 大阪市民調査では、18-59歳を対象としていたが、2023年に全国調査で同様のSOGI設問を用いる予定。対象年齢を60代や70代まで拡大できるかを確認したい
- SOGIをたずねても何をたずねられているのかわからないのではないか、質問内容が機微に触れると思われるのでは、と考えられている高年齢層への認知インタビューを実施した（2021年11月～2022年1月）

結果：

- 性自認と性的指向ははっきり区別されて認識されていないことが多い
- SOGI関連用語を知らなかったり正しく理解していないことは多いが、そのせいで回答を誤ることは少ない
- SOGI関連の質問に抵抗感を示す人は多いが、調査・質問の目的や意義が分かれば回答するという姿勢を示す

※ 認知インタビュー：回答者に思考プロセスを声に出しながら調査に回答してもらうことで調査票の質を実査前に系統的に評価・改善するための調査の一手法

（小山泰代，2022，「社会調査における高年齢層のSOGIの捉え方」，日本人口学会第74回大会報告資料より一部抜粋）

SOGIの捉え方の検討は、今後も継続していくべき

いずれにせよ、日本における SOGI に関する世論や知識は変化しつつあり、今日のベストプラクティスが明日もそうであるとは限らない。これらの設問についての考えは、SOGI の用語に関する一般社会の知識状況に大きく依存する。そのため、SOGI に関する世論や知識が変わっていくにつれて、本研究で示された結果は近い将来に変わるかもしれない。それゆえ、無作為抽出調査で SOGI をたずねている国で行われているように、設問を検証し無作為抽出調査を行うプロセスを繰り返していくことが重要である。

(平森・釜野 2021)

＊ ジェンダー統計の充実には、SOGIを含む調査が不可欠

- 国・自治体の既存の調査にSOGI設問を導入することで、各領域において追加予算をかけずにジェンダー統計のもとになるデータを集めることができる
- 男女共同参画の枠組みにおけるジェンダー統計の充実に向けた取り組みとして、SOGI格差が分析できる無作為抽出調査によるデータの蓄積が進むことを期待
- 誰もが安心して調査に回答できる環境を育むことが重要

* 調査の限界についても認識する必要

- 調査に回答できない・しない・したくない人たちは常にいる
↑ 調査の永遠の課題。全数調査を謳う国勢調査でも無回答率が高まっている。⇒回答した人たちの情報をもとに、分析を行い、それを活用していくのが調査の現実
- 回答できる人、できる状況にある、性的マイノリティと性的マイノリティ以外をみているに過ぎないことは常に認識すべき
 - それであっても、回答できた人たち（よりよい状況にある人たちである可能性）の中でSOGIによる格差・差異がみられるとしたら、意味のある結果として捉えることができる
 - 調査の結果、性的マイノリティの状況が性的マイノリティ以外より良くないことがわかったとしたら、回答しなかった：できなかった性的マイノリティの状況は、さらに悪いだろうと考えられる

* 調査の「暴力性」を意識する必要

- ・ 調べられる、分類されるという経験、「される側」の立場
- ・ 調査者－対象者の力関係（広田・暉峻 1987）
- ・ 調べ、集計し、発表することでカテゴリーを固定する、一部の存在のみを正当化するという問題（クィア調査法、クィア研究法における議論も要参照）
- ・ 倫理的配慮の重要性
 - ・ SOGIに関する研究を行う当事者・非当事者の研究者たちの多くは、常に悩みながら進めていることは確か
 - ・ ただし、社会調査に対する忌避感もしくは無関心は、こういった属性の人でも一定程度存在している⇒社会調査や統計についての教育、啓蒙も必要

* 一方で、調査の（間接的）効用も確認されている

- 調査票、調査項目に含まれることで、存在が正当化される
 - 「はじめて自分たちが回答できる調査票をみた」
 - 「社会から関心をもたれていると感じた」という声がきかれた
- 経験を伝える機会として捉えられる場合も
 - 嫌な思いをしたことを人に伝えたい、経験を活かしてもらいたい、自分の経験を役立てたい、という気持ちから回答する
 - 周りの人には言えないが、第三者（調査票、調査者）には言えるということも
- 調査を通じた教育的効果
 - こういうことが問題になっているということを知らせるチャンス
 - 多様な選択肢を用意することで、知識を普及できる可能性

→マイノリティにとっても調査にSOGI設問が含まれることは、必ずしもネガティブでない（調査が倫理的に適切なものであることが前提）

（付録 1）

一般人口対象の調査における性別・性自認の
設問：諸外国における例/ベストプラクティス

付録 1 のポイント

- GenIUSS (2014年) および NASEM (2022年) が提示するベストプラクティス：出生時に割り当てられた性別」の問いと「現在自認する性別」の問いの2つを用いる 2 ステップ方式が推奨されている。調査をめぐる様々な留意点も含まれる
 - 南米諸国での検討委員会でも 2 ステップ方式推奨 (Brown & Herman 2020)
 - ウェブ回答の場合、確認の問いの追加が推奨 (The Williams Institute 2020)
- (大阪市民調査前の準備調査(2018年実施)：「出生時に割り当てられた性別」の次に「現在の性別の認識は、出生時の性別と同じか」をたずね、同じでない人に「現在自認する性別」をたずねる、3 ステップ方式の方がよいとの結果
 - 大阪市民調査で採用 (2019年実施)： <https://osaka-chosa.jp/>; <https://www.ipss.go.jp/projects/j/SOGI/>
- イングランド・ウェールズのセンサス(2021年実施)：「出生時に割り当てられた性別」の問いの次に「現在の性別の認識は、出生時の性別と同じか」をたずね、「違う」人に「現在自認する性別」をたずねる、3 ステップ方式を採用
- なお、本資料では提示していないが、GenIUSS (2014)、NASEM (2022)、スライド38の イングランド・ウェールズのセンサスに向けた検討資料、その他、諸外国でまとめられた同様の資料には、性別、性自認、性的指向を調査でたずねることについて総合的に検討された知見が提供されている。調査を実施する際には参考にされたい。

一般人口対象の調査における性別・性自認の設問 2 例 (2 ステップ方式)

原文は英語。本資料において問いの意図を伝えるために日本語訳を記載したが、精査されたものではない。また、日本で実施される調査で用いる設問として検討する際には、用語や言い回しを十分に精査する必要がある。

GenIUSS, 2014: 無作為抽出調査でトランスジェンダーや性自認における他のマイノリティを捉えるための設問について、専門検討委員会がまとめたベストプラクティス

- 1) What sex were you assigned at birth, on your original birth certificate? : Male, Female [出生時にあなたに割り当てられた性別、出生時の出生証明書に記載された性別は、何ですか：男性、女性]
- 2) How do you describe yourself? (check one): Male, Female, Transgender, Do not identify as female, male, or transgender [あなたはご自分をどのように認識していますか：男性、女性、トランスジェンダー、女性・男性・トランスジェンダーのいずれの自認もない]

National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine (NASEM) 2022: 全米の科学アカデミー、技術アカデミー、医学アカデミーの3機関の共同プロジェクトとしてアメリカ国立衛生研究所に提案するかたちでまとめられた性別、性自認、性的指向の測定方法についての最新のベストプラクティス

- 1) What sex were you assigned at birth, on your original birth certificate? (Female, Male) [出生時にあなたに割り当てられた性別、出生時の出生証明書に記載された性別は、何ですか：女性、男性]
- 2) What is your current gender? [Mark only one](Male, Female, Transgender, I use a different term [])[あなたの現在のジェンダー（性別の認識を意味している）はどれにあてはまりますか：男性、女性、トランスジェンダー、自分は別の言葉を使う（具体的に： ）]

一般人口対象の調査における性別・性自認の設問例 (2ステップ方式＋確認の問い追加)

＊ 自記式の調査の場合の問い：

1) What sex were you assigned at birth, on your original birth certificate? : 1. Male, 2. Female [出生時にあなたに割り当てられた性別、出生時の出生証明書に記載された性別は、何ですか：男性、女性]

2) How do you currently describe yourself? : 1. Male, 2. Female, 3. Transgender, 4. None of these [現在は、ご自分をどのように認識していますか：男性、女性、トランスジェンダー、これらいずれでもない]

＊ 自記式でウェブ回答の場合、確認の問いを追加するという提案がなされている：

3) Just to confirm, you were assigned [] at birth and currently describe yourself as []. Is that correct? : 1. Yes, that is correct, 2. No [確認ですが、出生時に割り当てられたあなたの性別は[]、現在のご自分の認識は[]で、間違いありませんか：はい、間違いありません、いいえ]

(Sexual Orientation and Gender Identity (SOGI) Adult Measures Recommendations FAQs, The Williams Institute, March 2020)

一般人口対象の調査における性別・性自認の設問例 (3ステップ方式) イングランド・ウェールズの2021年センサス

設問がどのような経緯で決定されたかについては、以下の資料（およびこれらで示されたリンク先）を参照

- Census 2021: Final guidance for the question “What is your sex?”

<https://www.ons.gov.uk/census/censustransformationprogramme/questiondevelopment/genderidentity/census2021finalguidanceforthequestionwhatisyoursex>

- Guidance for questions on sex, gender identity and sexual orientation for the 2019 Census Rehearsal for the 2021 Census

<https://www.ons.gov.uk/census/censustransformationprogramme/questiondevelopment/genderidentity/guidanceforquestionsonsexgenderidentityandsexualorientationforthe2019censusrerehearsalforthe2021census>

3 What is your sex?

➡ A question about gender identity will follow if you are aged 16 or over

☐ Female

☐ Male

27 Is the gender you identify with the same as your sex registered at birth?

➡ This question is **voluntary**

☐ Yes

☐ No, write in gender identity

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

26 Which of the following best describes your sexual orientation?

➡ This question is **voluntary**

☐ Straight/Heterosexual

☐ Gay or Lesbian

☐ Bisexual

☐ Other sexual orientation, write in

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問3で性別を回答し、
16歳以上なら、

問26で性的指向アイデンティティ、
問27で現在自認する性別が出生時と
同じかを回答し、違う場合は、
自認する性別を記入する。

（この記入欄を含め、
3ステップとカウントしている。）

（付録 2） 国内で実施された調査における性別・性自認 の設問例

- ・ここでは、自治体が主体となった調査の例を紹介する
- ・国が主体となった調査における性別の問いについては、本WGの資料1（内閣府作成）にいくつかの例が記載されている

(大阪市(協力) 2019年)

3ステップ方式 (出生時性別、自認する性別、トランスジェンダーか否か、を捉える設問) 大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート(大阪市民調査)

問 44 あなたの性別に○をつけてください。[出生時の戸籍・出生届の性別](○は 1 つ)

1 男

2 女

※「出生時」とは、生まれたときにもっとも近い時点のことをさします。

問 45 あなたは今のご自分の性別を、出生時の性別 (上で○をつけたもの) と同じだと
とらえていますか。左側で 2 や 3 に○をした方は、今の認識をお答えください。

(○はいくつでも)

1 出生時の性別と同じ

2 別の性別だととらえている

3 違和感がある

今の認識にもっとも近い性別 (○は 1 つ)

1 男 3 その他

2 女 [具体的に:

当研究チームの次の調査では「3 その他」を
「3 男女以外の性別」
あるいは類似したものに
変更予定

(埼玉県 2020年)

3 ステップ方式 (出生時性別、自認する性別、トランスジェンダーか否か、を捉える設問)

埼玉県多様性を尊重する共生社会づくりに関する調査

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0303/2020lgbtqchousa.html>

大阪市民調査の設問を基本とし、問24で2または3と回答した人が今の認識を回答する際の選択肢として、3, 4, 5, 6を追加している

(大阪市民調査では、男、女、その他：具体的に、であった)

問23 あなたの性別をお答えください。(出生時の戸籍・出生届の性別)
※「出生時」とは、生まれたときにもっとも近い時点のことを指します。
(あてはまる番号**1つ**に○)

- 1. 男性
- 2. 女性

問24 あなたは今のご自分の性別を、出生時の性別(問23で○をつけたもの)と同じだととらえていますか。
(あてはまる番号**1つ**に○)

- 1. 出生時の性別と同じ
- 2. 別の性別だととらえている
- 3. 違和感がある

問25 (問24で 2. 別の性別だととらえている や 3. 違和感がある と答えた方におたずねします。)
今の認識にもっとも近い性別をお答えください。(あてはまる番号**1つ**に○)

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. 男性・女性のどちらでもあると認識している
- 4. 男性・女性の間であると認識している
- 5. 男性・女性のどちらでもないと認識している
- 6. 自分の性別が揺れ動いていると認識している
- 7. その他(具体的に)

(渋谷区 2021年)

3ステップ方式 (出生時性別、自認する性別、トランスジェンダーか否か、を捉える設問)

渋谷区：男女平等および多
様性社会推進に関する調査

<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/assets/kusei/000058285.pdf>

<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/assets/kusei/000057036.pdf>

埼玉県調査と同様の設問を
使用。

ただし、大阪市民調査、埼
玉県調査では、注釈のかた
ちで示していた内容を、問
19、性別のあとにカッコ
で入れ込んだという違いが
ある。

問19 あなたの性別(出生時の戸籍・出生届の性別)をお答えください。(1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1 男 性 | 2 女 性 |
|-------|-------|

問20 あなたは今のご自身の性別を、出生時の性別と同じだととらえていますか。(1つだけ)

- | | |
|-------------|----------------|
| 1 出生時の性別と同じ | 2 別の性別だととらえている |
| | 3 違和感がある |

↓
【問20で2か3を回答した方に】

問20-2 今の認識に最も近い性別を教えてください。(1つだけ)

- | |
|------------------------|
| 1 男 性 |
| 2 女 性 |
| 3 男性・女性のどちらでもあると認識している |
| 4 男性・女性の間であると認識している |
| 5 男性・女性のどちらでもないと認識している |
| 6 自分の性別が揺れ動いていると認識している |
| 7 その他(具体的に) |

都道府県主体の調査における性別の問いのサーベイ（途中経過報告※）

サーベイの方法：

- 2022年8月29-30日に実施したネット検索でヒットした調査が対象
- 原則、「都道府県名（県民・道民・府民・都民）調査」（例「青森県 県民調査」）で検索し、ヒットした調査の最新の調査票を閲覧し、性別の設問を抽出（各都道府県1件）
- 閲覧した調査の多くは住民基本台帳からの層化二段無作為抽出による「県政調査」「県民意識調査」の類。
- 調査票本体にアクセスできていないものについては、調査報告書や集計表から性別の選択肢を推測
- サーベイした設問は、1問でなんらかの性別を捉えようとしているもの（スライド40-42で提示した設問とは異なる）

結果：

- 自認する性別をたずねていることが明確であるものは4件（福島県、埼玉県、岐阜県、宮崎県）。その他の調査では、単に「性別」がたずねられている。自認する性別としても、無回答率が高まることはないようだ
- どの都道府県の調査においても、性別の問いが含まれていた。選択肢に、男性と女性以外のものを含めている調査は47件中28件、男性と女性だけの調査は19件。ただし閲覧したのは各都道府県1調査であるため、同じ都道府県の他の調査では、別の性別の問いが使われている可能性がある
- つまり、半数以上の都道府県の調査で、男女以外の選択肢が追加されており、男女のいずれにもあてはまらない回答者が回答しやすくなるように、工夫していることがわかる

※ 2022年度三菱財団人文科学研究助成による「ジェンダー統計の精緻化に適合する性別・性自認・性的指向の調査方法の開発と実践的検証に関する研究」（研究代表者 釜野さおり）の準備として行ったものである

都道府県主体の調査における性別の問いのサーベイ（途中経過報告）（続き）

結果（続き）：

- 各調査の性別の集計結果をみると、男女以外の選択肢を設けても、それらの選択率は低く、全体に大きな影響はない（ただし、選択肢を設けず、記入させる形式の問いを用いた福岡県の調査では、性別の無回答率が15.2%であった）
- 追加された選択肢には、下記のように分類できる（一覧は次スライドに記載）
 - A「その他」9件； B「無回答」5件、「回答しない」2件、「答えたくない」4件
 - C これら以外 7件（「その他（回答したくない）」1件、「その他」「答えたくない」2件、「その他、答えたくない」1件、「答えたくない、わからない、その他」2件、「どちらともいえないまたは 答えたくない」1件）
 - D 自由記載欄2件（3つ目の選択肢に言葉を用いず（ ）としたものが1件、選択肢をまったく提示せずに記載してもらう形式1件）
- 各調査において男女以外に設けた選択肢が適切であるかについては、検討が必要（※）。
- 「その他」という選択肢については、排除されたような印象を与える可能性があるとの指摘もある
- 「その他」「答えたくない」「回答しない」などの選択肢は、「男性」「女性」以外の性別であると認識している人に選ばれるとは限らない。たとえば性別をたずねべきではないと考える回答者や調査全般に反感をもった回答者がこれらの選択肢を選ぶ可能性もある。これらの選択肢を選ぶ背景が確認されていない現状では、結果の解釈が難しい。「男性」「女性」以外の選択肢については自由記述形式にすると、回答者が積極的に記入するプロセスが加わり、むやみに男女以外の回答をすることを回避できる可能性があると考えられる（例：鹿児島県）
- 選択肢としての「無回答」について：調査した結果、その問いに回答されなかったものを「無回答」として集計することが一般的である。選択肢に「無回答」を含めると、その問いに回答しなかった（どの選択肢も選ばなかった）場合との区別がつかないという調査法上の問題が生じることから、望ましいものではない

※ 現在、三菱UFJリサーチ＆コンサルティング（<https://www.murc.jp>）において、「（仮称）性別の把握方法に関する調査研究」が進行中であり、参考となる知見が今後公開される予定である。調査における性別の設問検討の際にはその結果も参照されたい

男女以外の選択肢を追加した都道府県主体の調査の例 (スライド43-44に、要約とコメントあり)

A	都道府県名	調査名	調査開始年別	質問文	選択肢
	岩手県	令和4年岩手県県民生活基本調査	令和2年10月	性別（○は1つ）	1 男性 2 女性 3 その他
	千葉県	令和3年度千葉県政に関する世論調査	令和3年12月	あなたの性別は。	男性 女性 その他
	山梨県	令和3年度県民意識調査	令和3年7月	あなたの性別は。	1 男 2 女 3 その他
	静岡県	令和3年度県政世論調査	令和3年6月	あなたの性別を教えてください。（○は1つ）	1 男性 2 女性 3 その他（ ）
	三重県	令和4年度第11回みえ県民意識調査	令和4年6月	あなたの性別をお答えください。（○は1つだけ）	1 男性 2 女性 3 その他
	大阪府	令和2年度人権問題に関する府民意識調査	令和2年11月	あなたの性別は。	1 男性 2 女性 3 その他
	岡山県	令和4年度県民満足度調査	令和4年5月	（調査票・質問文確認できず）性別	男性 女性 その他
	高知県	令和3年度県民世論調査	令和3年8月	性別（1つだけ○印）	1 男性 2 女性 3 その他
	沖縄県	令和3年第11回県民意識調査	令和3年8月	あなたの性別をお答えください。	1 男性 2 女性 3 その他
B	都道府県名	調査名	調査開始年別	質問文	選択肢
	青森県	男女共同参画に関する意識調査	令和2年10月	性別	1 女性 2 男性 3 無回答
	秋田県	令和3年度県民調査	令和3年5月	あなたの性別	1 男性 2 女性 3 無回答
	山形県	令和3年度 県政アンケート調査	令和3年9月	あなたの性別をお答えください。（○は1つ）	1 男性 2 女性 3 無回答
	埼玉県	令和3年度埼玉県政世論調査	令和3年7月	【性別】※戸籍上の性別ではなく、自認する性別をお選びください。（○は1つだけ）	男性 女性 無回答
	徳島県	令和3年度徳島地震・津波県民意識調査	令和3年11月	性別を教えてください。（1つだけ○）	1 男性 2 女性 3 無回答
	北海道	令和3年度道民調査	令和3年10月	あなたの性別をお答えください。	1 男性 2 女性 3 回答しない
	富山県	令和3年度県政世論調査	令和3年8月	あなたの性別をお答えください。	1 男性 2 女性 3 回答しない
	福井県	令和3年度福井県長期ビジョンの実現に向けた県民アンケート調査	令和3年10月	（調査票・質問文確認できず）性別	男 女 答えたくない
	滋賀県	令和3年度第54回滋賀県県政世論調査	令和3年8月	性別を教えてください。（○は1つだけ）	1 男 2 女 3 答えたくない
	京都府	令和4年度京都府民の意識調査	令和4年4月	あなたの性別を教えてください。（○は1つ）	1 男性 2 女性 3 答えたくない
	佐賀県	令和4年度佐賀県県民意識調査	令和4年5月	性別は、次のうちどれですか。（○は1つだけ）	1 男性 2 女性 3 答えたくない
C	都道府県名	調査名	調査開始年別	質問文	選択肢
	鳥取県	令和3年度県民意識調査	令和3年7月	性別	1 男性 2 女性 3 その他（回答したくない）
	長崎県	男女共同参画社会に向けての県民意識調査	令和2年1月	あなたの性別をお尋ねします。	1 男性 2 女性 3 その他 4 答えたくない
	宮崎県	令和2年度宮崎県県民意識調査	令和3年2月	性別 ※自己認識による性別を選択してください。	1 男性 2 女性 3 その他 4 答えたくない
	愛知県	2021年度県政世論調査	2021年11月	あなたの性別をお聞かせください。（○は1つ）	1 男性 2 女性 3 答えたくない わからない その他
	石川県	令和2年度男女共同参画に関する県民意識調査	令和2年5月	あなたの性別は。	女性 男性 どちらともいえない または 答えたくない
D	長野県	令和元年度男女共同参画に関する県民意識調査	令和元年11月	あなたの性別	1 女性 2 男性 3 答えたくない その他
D	鹿児島県	令和3年男女共同参画に関する県民意識調査	令和3年10月	あなたの性別をお尋ねします。	1 男性 2 女性 3 （ ）
	福岡県	令和3年度県民ニーズ調査	令和3年11月	あなたの性別を以下の欄にご記入ください。	記入欄（ ）

※ 2022年度三菱財団人文科学研究助成による「ジェンダー統計の精緻化に適合する性別・性自認・性的指向の調査方法の開発と実践的検証に関する研究」（研究代表者 釜野さおり）の準備として行ったサーベイの途中経過報告

都道府県主体の調査における性別の設問の例 (スライド45にリストした中のいくつかを抜粋)

- **例1)** 北海道道民調査 (令和3年度)

I あなたの性別をお答えください。

1 男性 2 女性 3 回答しない

各調査において男女以外に設けた選択肢が適切であるかについては、検討が必要である

- **例2)** 宮崎県県民意識調査 (令和2年度)

◆性別 1 男性 2 女性 3 その他 4 答えたくない
※ 自己認識による性別を選択してください

例2)は、「その他」と「答えたくない」を追加した例。性別については、自己認識をたずねていることを明記しているのが特徴的

- **例3)** 鹿児島県男女共同参画に関する県民意識調査 (令和3年度)

F 1 あなたの性別をお尋ねします。(○は1つ)

1 男性 2 女性 3 ()

例3)は、「その他」や「答えたくない」ではなく、男性、女性を選択しない人には、具体的に回答を書いてもらう方式をとっている。

なお、DSD／性分化疾患の団体からは、男女以外の性別(第3の性別)の欄を設けることに反対する声明が出されている(性自認についてはこの限りではない)。nextsd JAPAN「【声明】私たちは「第三の性別」を求めています。」

<https://shoutout.wix.com/so/64NpvnyM5?languageTag=en#/main>

* 市区の調査において「男」「女」以外の選択肢を設けている設問例

各調査において男女以外に設けた選択肢が適切であるかについては、検討が必要である

・ 例 1) 世田谷区民意調査 (令和3年度)

F 1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つ)

1 男性	38.4	2 女性	59.6	3 その他	0.1
				(無回答)	1.8

・ 例 2) 青森県 男女共同参画に関する意識調査 (令和 2 年)

F 1 性別

1 女性 2 男性 3 無回答

例 2 では「無回答」という選択肢を用いているが、調査した結果、その問いに回答されなかったものを「無回答」として集計することが一般的である。選択肢に「無回答」を含めると、その問いに回答しなかった(どの選択肢も選ばなかった)場合との区別がつかないという調査法上の問題が生じることから、望ましいものではない

・ 例 3) 性的マイノリティについての調査 (久喜市) 令和2年11月

問 2 あなたの性別を教えてください。※自分としての認識でお答えください。(1つだけに〇)

1. 男性 2. 女性 3. その他

例 3 では、自分の性別の認識をたずねていることを質問文で明記している

・ 例 4) 男女共同参画に関する区民の意識・実態調査アンケート (新宿区)(平成28年10月)

問1. はじめに、あなたの性別、年齢をお伺いします。(〇はそれぞれ1つずつ)

(1) 性別 1 男性 2 女性 3 1・2にあてはまらない

例 4 では「その他」という選択肢を用いずに、男性あるいは女性以外であることを明確に示す選択肢を用いている

参考文献

- Betts, P., 2008, “Developing Survey Questions on Sexual Identity: Cognitive/In-depth Interviews,” ONS, July 2009.
- Conron, K.J., Goldberg, S.K., and Halpern, C.T., 2018, “Sexual Orientation and Sex Differences in Socioeconomic Status: A Population-based Investigation in the National Longitudinal Study of Adolescent to Adult Health,” *Journal of Epidemiological Community Health* 72:1016-1026.
- Joloza, Traynor and Haselden, 2009, “Developing Survey Questions on Sexual Identity: Report on the General Lifestyle (GLF) Split-sample Pilot,” ONS, May 2009.
- Meyer, I. H. et al., 2017, “Demographic Characteristics and Health Status of Transgender Adults in Select US Regions: Behavioral Risk Factor Surveillance System, 2014,” *American Journal of Public Health* 107(4): 582-589.
- National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine, 2022, *Measuring Sex, Gender Identity, and Sexual Orientation*. Washington, DC: The National Academies Press. <https://doi.org/10.17226/26424>.
- ONS, 2006, “The 2011 Census: Assessment of Initial User Requirements on Content for England and Wales- Sexual Orientation,” ONS, March 2006.
- Taylor, T., 2008, “Developing Survey Questions on Sexual Identity: Review of International Organizations’ Experiences of Administering Questions on Sexual Identity/Orientation,” ONS, May 2008.
- 釜野さおり, 2018, 「性的マイノリティをめぐる量的データダイバーシティ推進の文脈における両義性一」 『女性学』 26: 22-37.
- 釜野さおりほか, 2020, セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える全国大会2020「大阪市における無作為抽出調査からみたセクシュアル・マイノリティのメンタルヘルス」 パネル展示・パネルセッション（21月11日～12日 大阪市ドーンセンター）
- 平森大規・釜野さおり, 2021（郭水林・小西優実訳）「性的指向と性自認のあり方を日本の量的調査でいかにとらえるか—大阪市民調査に向けた準備調査における項目の検討と本調査の結果—」 『人口問題研究』 77(1): 45-67.（原文：Hiramori, D. and Kamano, S., 2020, “Asking about Sexual Orientation and Gender Identity in Social Surveys in Japan: Findings from the Osaka City Residents’ Survey and Related Preparatory Studies,” *Journal of Population Problems* 76(4): 443-66.）
- 広田伊蘇夫・暉峻淑子（編）, 1987, 『調査と人権』 現代書館.

付録の出典

(下記以外にスライドに記載されたものもある)

Brown, T. N. T., and Herman, J. L., 2020, Exploring International Priorities and Best Practices for the Collection of Data about Gender Minorities: A Focus on South America, Report of Meeting. Los Angeles, CA: The Williams Institute.

<https://williamsinstitute.law.ucla.edu/wp-content/uploads/WPATH-English-Mar-2020.pdf>

GenIUSS, 2014, *Best Practices for Asking Questions to Identify Transgender and Other Gender Minority Respondents on Population-Based Surveys*. <https://williamsinstitute.law.ucla.edu/publications/geniuss-trans-pop-based-survey/>

National Academies of Sciences, Engineering, and Medicine 2022. *Measuring Sex, Gender Identity, and Sexual Orientation*. Washington, DC: The National Academies Press.
<https://nap.nationalacademies.org/catalog/26424/measuring-sex-gender-identity-and-sexual-orientation>

The Williams Institute, 2020, Sexual Orientation and Gender Identity (SOGI) Adult Measures Recommendations FAQs, The Williams Institute, March 2020